

みなさんこんばんは。本日は初めてのガバナーの公式訪問です。お迎えする我々も初めての経験でございますけれども、とにかく一つひとつが勉強でございます。鈴木ガバナーにおかれましてもご遠慮なく気づかれたところをご指導いただきまして、私共の一步一步の礎にご協力いただければと思います。では、第33回目の例会を始めさせていただきます。

<会長挨拶>

みなさんこんばんは。今年度は毎月新しい事業が行なわれるのですが、創立総会が終わればチャーターナイト。チャーターナイトが終われば新年度が始まりました。そして8月、9月、3ヶ月をかけて準備をまいりました、「事業計画書」に基づきガバナー公式訪問の日を迎えました。

ロータリーのプログラムにつきましては、最初はなじみがなくわからない点も多いと思いますが、皆様に今日お配りしております「事業計画書」も鈴木ガバナーのご挨拶の右側の欄からシェルドンの提唱した語録があります。

田中毅パストガバナーの論文を引用して、分かりやすくみんなに勉強していただくために事業計画書に採用しております。これをよく読んでいただいて疑問のあるところは先輩に、またガバナーにということで、どしどしご意見を申し述べられまして、一つひとつを乗り越えていただきたいと思います。

特にシェルドンは若い頃、日本で言えばブリタニカのような、所謂、本の営業を昔やっていたのです。日本の歩合給のセールスマンよりもアメリカはもっと厳しいのです。1冊でも売れなかったら家族は生活できないのです。月給ゼロ。そのようなアメリカの中で耐え抜いてこられて成功して、このロータリー運動の礎を創られたことにつきまして、非常に共感を呼んで分かりやすくしてくれる提唱論文だと思います。

皆様とご一緒にロータリーの原点を学びながら、ラビンドラン国際会長の今年度テーマである「プレゼントになろうよ」と、そして2580地区の鈴木喬ガバナーのおっしゃるご挨拶にすべてが網羅されているのではないかと思います。

我々は1年、2年、3年と勉強をし続け、そして友情の花を咲かせて、益々発展していく御苑RCになればいいかなと思っております。

いろいろなプログラムがありますが、やはり人様からお金を頂くというのは本当に難しいのです。配るのは簡単なのです。でも集めるのは難しい。それが増強なのです。経営、経済界においては一つひとつの商品が作られ、それを奉仕の心で売っていく。こういうことも我々は参考にしながらロータリーの普及運動をやっていかなければならない。ロータリーの内容を人に説明できなくて増強はできないのであります。ロータリーの良さ、それをよく自分なりに研究され、お友達に、知人に伝えて、そして入会していただく。これがロータリーの最たる勉強ではないかと思います。

特別代表の教えも過去1年、たくさんございました。涙の落ちるほど先輩の言葉もあったわけではございますけれども、こういうものを重ね合わせて増強の力にして、この新宿という街を更に明るい街にしていこう。そういうことが我々の役目ではないかなと思っております。

今日は日本生命の辻さんが入会されます。快く皆さんで歓迎して、そして若人の溢れるロータリークラブを作っていけたらと思う次第でございます。

今日は、鈴木ガバナー公式訪問に当たって、謙虚に学ぶ姿勢を我々は持って、職業奉仕の精神を併せて培いながら期待に応えてまいりたいと思います。今日はよろしく願い申し上げます。